

2020年度

卒業生に寄せるメッセージ

「二〇二〇年度卒業・修了制作展に寄せて」

京都芸術大学 学長 尾池和夫

だれでも、いつでも、どこでも学べる芸術大学という言葉で始まる京都芸術大学通信教育部は、18歳から入学できる大学の課程であり、入学試験はなく、大学受験資格を持つ方が立場を越え、地域を越え、分野を越えて集うことのできる課程で、日本で最初に誕生した通信制芸術大学で、4年制の学部と大学院修士課程があります。

今までに卒業した皆さんの先輩の、最高齢は96歳、ギネスブックに認定された世界最高齢の学士です。皆さんはそのような伝統のあるコースを選び、みごとに学部卒業あるいは大学院修了という、ゴールを目前とする地点にたどり着いた方たちです。一人ひとりが努力の末にたどり着いた学習の成果を結集して、大学院・学部合同のWEBでの卒業・修了制作展となったのです。

晴れてこのゴールにたどり着いた喜びを、今、皆さんはかみしめながら、そこに至る人生を振り返っておられることでしょうか。ご家族の支援、みずからの苦労とさまざまの工夫、時間のやりくり、制作のための場所と資材の確保、会心の作を完成するまでの試行錯誤、きりがなほどの言葉がそこに浮かび上がることと思います。

今、皆さんはそれぞれの入学の時の思いを記憶から呼び起こしてみられることでしょう。そして、その時から一段と大きくなった自分の姿に気づかれたことでしょう。卒業あるいは修了制作の中で、また卒業論文を執筆する中で、卒業し、修了された後の人生のデザインが、今しっかりとできていることと思います。これから、「藝術立国」の精神を身につけた社会人として、ますますのご活躍を期待します。

京都芸術大学通信教育部airUキャンパスのウェブサイトには、2004年度以来の、制作者本人の掲載許諾が得られた卒業制作作品・卒業研究論文（要約）があります。皆さんもぜひそこに作品を残していただくとともに、本学の出身者として後進へのご支援も、よろしく願います。

2020年度

卒業生に寄せるメッセージ

「美しく、誇らしい結晶」

京都芸術大学 通信教育部長 上田 篤

待ち望んだ春がやってきましたね。
卒業・修了証書を手にした皆さん、おめでとうございます。
ご家族の方にも心から祝福の気持ちをお伝えしたいと思います。

社会人であるがゆえの仕事や家事との両立。
言葉にするのは簡単ですが、ここに至るまで多くの困難に直面したことでしょう。
加えて、2020年度は世界中が大きな試練と向き合い、
まわりとの分断を余儀なくされました。
いつもよりも孤独な挑戦にはなりましたが、
ひとりひとりがもがいて生み出した結晶は本当に美しく、
そして、心から誇らしく思います。
この状況下だからこそ生まれたであろう、個性と想像力に溢れた作品からは
他者を思いやる気持ちを感じることができました。
また、それらが結集したこの卒業・修了制作展は
モザイクタイルのように我々を魅了し、感動を与えてくれました。
皆さんの挑戦と逞しさに心から拍手をお送りしたいと思います。

近い将来取り戻す平穏な日常は、
これまでとは異なる新しい社会の始まりとなるでしょうが、
皆さんならその世界を切り開いていけることを確信しました。
くれぐれも心身の美容と健康にだけは気を付けて、
これからの人生を存分に謳歌されることを願っています。